

図書館 通信

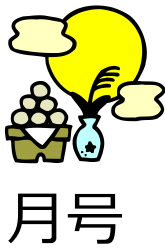
豊かな時間を図書館で



画：長田 清（登別美術協会）

令和4年
(2022年)

9



月号

第496号(第41巻第6号)

【目次】

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| P1 ティーンズコーナーのご紹介 | P6 職員コラム |
| P2 行事と展示のお知らせ | P7 職員のおすすめ本 |
| P3 事業報告 | P8 新着図書案内 |
| P4 アーニス分館だより | P12 カレンダーとのお知らせ、
図書館施設のご案内 |
| P5 市民のひろば | |

編集・発行 登別市立図書館
〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1
電話(0143)85-4324 FAX(0143)85-4325

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>
E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

3階にティーンズコーナーが出来ました

3階のレイアウト変更に伴い、中学生・高校生向けの本を集めたティーンズのためのコーナーを設置しました。

「岩波ジュニア新書」(岩波書店発行)「14歳の世渡り術」(河出書房新社発行)や人気作家が純文学にイラストを添えた「乙女の本棚」(立東舎発行)シリーズなど、ティーンズに読んでほしい作品を配置しています。

3階には自習スペースもありますので勉強の合間に手に取りやすく、「児童室に行くのは気恥ずかしい」と感じる世代も気兼ねなく利用してほしいと思いレイアウト変更を行いました。

また、こんな本が読みたいなどの要望がありましたら、リクエスト用紙に書いてお申込みください。

すべての要望に応えることはできませんが、他市町村より本を取り寄せする(相互貸借)などの方法でご用意することもできます。

ぜひ一度、ティーンズコーナーで本を手にとってみてください。



「瓶詰地獄」(乙女の本棚より)立東舎/発行
夢野 久作/著 ホノジロトヲジ/絵

映画会

※会場は図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

今月は3日です！（毎月第1土曜日に開催）

こども映画会 「ぱんつもいいな」（アニメ 約30分）
10時30分～ ◎人気絵本のアニメ作品から4編を上映します
※来月は「雨ふり小僧」を上映します。

名画鑑賞会 「荒野の決闘 ～いとしのクレメンティン～」(97分)
13時30分～ ◎ジョン・フォード監督による西部劇の傑作を上映します。
※来月は「嵐が丘」を上映します。

おはなし会

※会場は①アーニス分館、②③図書館3階会議室です。
入場無料、申込は不要です。

①**デジタル分館おはなし会**（電子絵本や電子紙芝居の読み聞かせ）
日時 9月3日（土） 14時より **※毎月第1土曜日**

②**えほんのへやのおはなしかい**（絵本や紙芝居の読み聞かせ）
日時 9月10日（土） 14時より **※毎月第2土曜日**

③**おはなしぽけっと**（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）
日時 9月24日（土） 13時30分より **※毎月第4土曜日**



イベント・講座

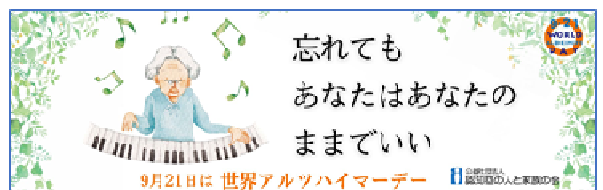
①**大人のための朗読会**
日時 9月29日（木） 10時30分より
登別朗読ボランティアの会による大人のための朗読会です。
図書館では初の開催ですので、この機会に是非お越しください！



ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
どなたでもご覧頂けます。

①**共催展示「9月は『世界アルツハイマー月間』です」**
開催期間 9月1日（木）～9月15日（木） ※登別市健康長寿グループとの共催
「国際アルツハイマー病協会」（ADI）は、世界保健機関（WHO）と共同で1994年に毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定、また9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な認知症の啓蒙活動を実施しています。
これに併せてアルツハイマーや認知症に関する本の展示を行います。
食事や運動、福祉サポート、また自分や家族・友人が認知症になった時にどうするか、などアルツハイマーや認知症についての様々な種類の本を展示します。ぜひご覧ください。





夏休み工作報告「まねき猫の貯金箱」

7月30日（土）参加者5名（付き添い5名）で、占いのできる「まねき猫の貯金箱」を作りました。

参加者が偶然、小学校低学年ばかりのためか、作業はテンポよく進んでいきました。

ビー玉を重りにした千両小判で滑車の回り具合を調整しつつ、招き猫の手はどちらをあげるかホワイトボードに貼られた情報を参考にしながら決めていきました。

（ちなみに右手はお金、左手は人を呼ぶそうです）

千両小判を大量ゲットした強猫（？）やお金を前に目が☆になってしまった猫もいるようですが、どの作品も素晴らしくこどもたち自身も満足のいく出来となったようです。



多彩なこどもたちの作品



ロビー展示報告「この本、オススメ！！」

8月2日（火）から10日（水）まで、北海道登別明日中等教育学校 5回生の蛇口 へびぐち 文利愛 みりあ さんによる「この本、オススメ！！」と題するPOPの展示が行われました。

本離れがすすんでいる昨今ですが、「若い人たちに少しでも本に触れてもらいたい！」との思いからこの企画を立ち上げたそうです。

POPが作成された6作品は、文章やイラストから作品に対する愛着が感じられるもので、当館に所蔵のない作品については書影を利用しました。

また、同時に同校で行われたアンケート結果も展示し、今時の中学生や高校生が好きな作家や図書館に入れて欲しい本の傾向が示されました。

図書館では購入の難しい要望もありますが、今後の選書の参考とさせていただきます。

最後に、企画・準備を一人で行って大変だったと思いますが、とても興味深い展示をありがとうございました。



準備をする蛇口さん



完成作品！

アーニス分館だより

アーニス分館では

- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ DVDを視聴できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。



デジタル分館おはなし会

9/3(土) 14時～14時30分

場 所 アーニス分館閲覧室

むかし話や、季節のおはなしを
大きな画面で楽しんでいただきます。

・『さんびきの子ぶた』など3作品

ローズウィンドウをつくろう！

9/24(土) 14時～15時 先着5名まで

場 所 アーニス分館閲覧室

薄紙をハサミでカットして重ね、
スタンドグラスの様に楽しめます。

申込受付：9月2日(金) 10時から
分館カウンターか、お電話(81-2182)で

《イベント報告》

アーニス分館の夏休みのお楽しみ会 開催しました！



♪ 絵本の読み聞かせの様子 ♪

アーニス2階のフリースペースをお借りしての「夏休みのお楽しみ会」7/27(水)は、おはなし会と縁日風のお楽しみ(ヒヨコ釣り・的当て・ボーリング・輪投げ・絵本のお楽しみ袋)に、60人ほどのご参加をいただき、おかげさまでにぎやかな開催となりました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。進行などに行き届かないところがありましたこと心よりお詫び申し上げます。

『図書館の自由に関する宣言』を大切に

登別市に図書館ができてから50年。感慨深いものがあります。建物の中央付近に階段のスペースがあるという構造は、現代の専門家が設計したら、決して採用しない建て方です。

古い、狭い、そして使いにくい現状にめげず、そこで働く職員の方たちは一生懸命です。選書やロビー展示、そして毎月発行されるこの『図書館通信』から、少しでも多くの市民に活用してほしいという熱意や細やかな心遣いが伝わってきます。

一方、この50年の日本や世界の移り変わりを見ると、どうも良くない方向に進んでいると感じます。新型コロナによる度重なる行動規制や過剰な自粛は、あたかも日本に全体主義が復活したかのような息苦しさを覚えました。

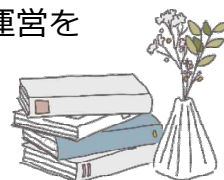
世界に目を向けると、返還後の香港の民主活動の抑圧や台湾付近での中国の軍事演習、そして半年過ぎても終わる気配の見えないロシア対ウクライナの戦争。それに伴い、日本は軍備の増強をすべきとの声が高まっています。

そんな将来に不安を感じる昨今、図書館の役割はますます重要になってくると思われます。そこで忘れてはならないのが『図書館の自由に関する宣言』です。

「図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする」という文言から始まるこの宣言は、日本図書館協会が決議したもので、「わが国においては、図書館が国民の知る自由を保障するのではなく、国民に対する『思想善導』の機関として、国民の知る自由を妨げる役割さえ果たした歴史的事実があることを忘れてはならない」と軍国主義に加担した過ちを明らかにし、「図書館は、この反省の上に、国民の知る自由を守り、ひろげていく責任を果たすことが必要」と続けます。

近年、図書館は全国で指定管理者制度の導入が進み、このままでは利益の確保を優先するあまり、図書館本来の使命を忘れてしまわないかと心配になります。

登別市の財政公表によると、新図書館の建設は期待できませんが、施設は古くても、市民の知る自由を守り、図書館の自由に関する宣言を風化させない運営を続けていただきたいと願っています。



知里幸恵さんの没後百年によせて

知里幸恵さんが亡くなったのは1922年9月18日。今月でちょうど百年になります。このためなのか、このところ関連図書の出版や記念講演会が相次いでいます。

まず、小野有五・北海道大学名誉教授による、『新しいアイヌ学』のすすめ 知里幸恵の夢をもとめて』（藤原書店、8月29日刊行予定）と、この出版を記念した講演会が9月4日に登別市民会館で開催されます。主催は、図書館で「登別の野鳥展」をしてくださった市内の自然愛好グループ「ヨシキリの会」さんです。

もう1冊は、石村博子さんの『ピリカチカッポ（美しい鳥）知里幸恵と「アイヌ神謡集」』（岩波書店）で、こちらも著者による講演会「『ピリカチカッポ』を書いて」が9月24日に市民会館で開催されます。主催は「知里幸恵 銀のしずく記念館」です。

石村博子さんは、以前、図書館ボランティアの方に紹介していただき、登別市立図書館でも文化講演会にお呼びしたことがあります。

2015年2月21日に、「その人」の物語を聴くということ ―背後につらなる人間と歴史を辿る―と題して市民会館を会場に講演していただきました。

石村さんの母校である室蘭栄高校にもポスターを持参し周知した甲斐もあって81名の参加者がありました。石村さんのかつての学友が多く集まり、さながら同窓会のような様子でした。「館長さん、写真撮って」と頼まれ、石村さんを囲んだ皆さんをカメラに収めたのを覚えています。

この講演会では、前半で、なぜノンフィクションに携わるようになったのか、これまでの石村さんの仕事や作品を3つに分けて語ってくれました。

そして、後半は「知里幸恵を巡る人々」でした。

石村さんから送られてきた「講演の趣旨」には、「40年前から気になっていました。幸恵を大切に思っている人々のもとを尋ね、幸恵像を浮かび上がらせたい。死んでから後も成長し続ける稀有な人物。私たちに必要なメッセージを送り続けています。」と、ありました。



この講演会で、最も印象に残ったのが、知里幸恵の姪で「知里幸恵 銀のしずく記念館」の館長だった横山むつみさんでした。

最後の質疑応答で、手を挙げたのが横山むつみさんでした。

「その本はいつできるのでしょうか？私の生きているうちに何とか・・・」と、振り絞るような声で語ったのが忘れられません。

横山むつみさんは翌年2016年の9月21日に逝去されました。

石村さんの本『ピリカチカッポ』の169ページに、「1967年に刊行された『登別町史』では（中略）幸恵の名前は一度も出てこない」という箇所があります。

このことを登別ロータリークラブでお話ししたとき、皆さんから「そこまで知られていなかったのか」という驚きの声があがりました。

『登別町史』から約半世紀、そして没後百年。知里幸恵さんを偲ぶ集いが、このように開かれるようになりました。「隔世の感」とは、まさにこのことではないでしょうか。

わたしのおすすめ本

今月の担当 キャットウーマン



『みらいめがね ② 苦手科目は「人生」です』

荻上チキ 著・ヨシタケシンスケ 著／暮しの手帖社 発行

雑誌「暮しの手帖」に連載中の単行本第2弾です。

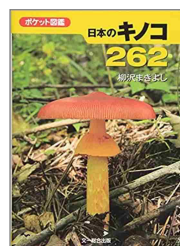
視野をひろげ生きにくさをはじき飛ばすエッセイ 14 話とヨシタケシンスケさんのクスツと笑える7コママンガを掲載しています。ヨシタケシンスケさんのイラストには共感ができて、とても楽しめます。色んな人がいて、モノゴトにも色んな見方がある、そんな中で自分が行き詰った時のヒントが見つけれられるかもしれません。

本文の中に「人間、歳を重ねれば重ねるほど、視野もピントも限られてきます。だからこそ、いろんなめがねが必要に、大事になってくるんですね。」とあります。

“みらいめがね”は物事を考える上で必要なもの。

いろいろなめがねを持ち、生きづらさを軽減していけたらいいなあと思います。

電子書籍おすすめ本



調べもので活用できる書籍を2点ご紹介します。

◎ 『日本のキノコ 262 ポケット図鑑』／柳沢まきよし 著／文一総合出版 発行

身近な食用キノコや間違いやすい毒キノコなど 262 種類を写真でわかりやすく詳しく掲載しています。保存方法やキノコ料理、キノコ狩りについてのさまざまな極意も満載です。昨年、散歩していた時に見つけたキノコについて来館され調べていた方がいましたが電子書籍ならインターネット環境があればその場ですぐに調べることができます。

◎ 『鳴き声から調べる野鳥図鑑 -おぼえておきたい85種-』

松田道生 文・音声 菅原貴徳 写真／文一総合出版 発行

身近な野鳥 85 種類の生態と鳴き声(音声付き)を紹介しています。

散歩中、野鳥の声が聞こえたら調べてみてはいかがでしょうか。

鳴き声を音声で聞けるのはとても便利です。鳥の声を聞くだけでも癒されます。



新着図書案内 令和4年9月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		フィンランドで気づいた小さな幸せ365日	島塚 絵里
中国のデジタルイノベーション	小池 政就	ザ・クイーン エリザベス女王とイギリスが歩んだ一〇〇年	マシュー・デニソン
読書会という幸福	向井 和美	初めて書籍を作った男 アルド・マヌーツィオの生涯	アレックスandro・マルツォ・マーニョ
復活事典 21世紀「再ブレイク」モノ&コトカタログ	造事務所	熔ける再び そして会社も失った	井川 意高
超傑作選ナンシー関リターンズ	ナンシー関	羅振玉自伝 集蓼編その他	羅 振玉
チコちゃんの素朴なギモン365	NHK「チコちゃんに叱られる！」制作班	永六輔大遺言	さだ まさし 永 拓実
47都道府県・博物館百科	可児 光生ほか	いつか死ぬから旅に出た 150カ国・13万kmの自転車世界一周	周藤 卓也
●ときめきのミュージアムグッズ	大澤 夏美	●世界の廃墟島 美しく孤独な場所	クラウディア・マーティン
国際報道を問いなおす	杉田 弘毅	地球の歩き方 北海道 2023~24	地球の歩き方編集室
1 哲学・宗教		3 政治・経済・社会・教育	
「みんな違ってみんないい」のか?	山口 裕之	韓国の大統領はなぜ逮捕されるのか	西岡 力
哲学するってどんなこと?	金杉 武司	枢密院 近代日本の「奥の院」	望月 雅士
●日本思想の道しるべ	鶴見 俊輔	韓国民主政治の自壊	鈴置 高史
やらかした時にどうするか	畑村 洋太郎	プーチンの野望	佐藤 優
私たちはどう学んでいるのか	鈴木 宏昭	外国人差別の現場	安田 浩一 安田 菜津紀
転身力 「新しい自分」のを見つけ方、育て方	楠木 新	新疆ウイグル自治区 中国共産党支配の70年	熊倉 潤
インド宗教興亡史	保坂 俊司	国民安全保障国家論	船橋 洋一
世界遺産の神社	神宮館	第三次世界大戦はもう始まっている	エマニュエル・トッド
喜怒哀楽のお経を読む	釈 徹宗	アフガニスタン・ペーパーズ	クレイグ・ウィットロック
空海	松長 有慶	国連安保理とウクライナ侵攻	小林 義久
2 歴史・地理		死刑について	平野 啓一郎
発掘された日本列島 2022	文化庁	経済指標読み方がわかる事典	森永 康平
目でみる日本史	岡部 敬史	西武王国の興亡 堤義明最後の告白	大下 英治
明治史講義 グローバル研究篇	瀧井 一博	なぜ倒産 令和・粉飾編	日経トップリーダー
明治維新の収支決算報告	青山 誠	台湾流通革命	佐宮 圭
抑留を生きる力 シベリア捕虜の内面世界	富田 武	ミスを最大のチャンスに変える リカバリーの技術	後田 良輔
●断面 北の昭和史	北海道 ノンフィクション集団	ざっくりわかる簿記の本	宇田川 敏正監修
明治期北海道地図の研究	高木 崇世芝	デマの影響力	シナン・アラル
陸奥と渡島	吉村 武彦ほか	帝国日本のプロパガンダ	貴志 俊彦
消えた帝国満州の100人 完全保存版	太平洋戦争研究会	外国人集住団地	岡崎 広樹
偉人メン伝	真山 知幸	実家じまい終わらせました!	松本 明子
NO SIGNAL 街を出て、大自然で暮らす ことを選んだ10人の生き方	プリス・ポルトラーノ	●最期まで在宅おひとりさまで機嫌よく	上野 千鶴子
●「ナパーム弾の少女」五〇年の物語	藤 えりか	誰も断らない こちら神奈川県座間市生活援護課	篠原 匡

新 着 図 書 案 内 令 和 4 年 9 月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
しゃべらなくても楽しい！ シニアの元気を引き出す健康体操 50	斎藤 道雄	こむら返り自力で克服！	出沢 明
わたし生活保護を受けられますか	三木 ひとみ	いくつになっても「骨」は育つ！	今泉 久美
自治体が直面する 高齢者身元保証問題の突破口	沢村 香苗	最高の老後	山田 悠史
不登校後を生きる	樋口 くみ子	「家トレ」のきほん	石田 竜生
● 6カ国転校生ナージャの発見	キリーロバ・ ナージャ	なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか	恩蔵 絢子 永島 徹
わいせつ教員の闇 教育現場で何が起きているのか	読売新聞取材班	ウルトラ図解乾癬	朝比奈 昭彦監修
算数文章題が解けない子どもたち	今井 むつみほか	大人の女性の心と体をととのえる 更年期改善レシピ	対馬 ルリ子監修
人間科学部 中高生のための学部選びガイド	大岳 美帆	子どもの目を守る本 イラスト版	三木 淳司監修
定年後にもう一度大学生になる	瀧本 哲哉	徳洲会コロナと闘った800日	笹井 恵里子
0～18歳までの家庭でできる モンテッソーリ教育	ティム・セルダン ローナ・マクグラス	やせる！ウォーキング	長坂 靖子
4 自然科学・医学		薬学博士が教える手づくり野草茶レシピ	中山 智津子
● 世界の研究者が調べた すごすぎる実験の図鑑	カンゼン	5 技術・工業・家事	
文系のためのめっちゃやさしい数学 幾何(図形)編	山本 昌宏監修	ヴィーガンサンドイッチ	今井 ようこ
化学技術者・研究者になるには	堀川 晃菜	なりわい再考 聞き書き昭和の手仕事職人	北沢 正和
周期表 元素の並びに秘められた法則	ニュートン編集部	災害とトイレ	日本トイレ協会
● すばらしき宇宙の図鑑	野口 聡一	決戦！株主総会 ドキュメントLIXIL死闘の8カ月	秋場 大輔
● 極限大地 地質学者、 人跡未踏のグリーンランドをゆく	ウィリアム・グラスリー	図説西洋建築の歴史 新装版	佐藤 達生
グレタの真実 グレタ・トゥーンベリ	アンダシュ・ヘルベリ	● 日本の台所一〇〇年	平凡社
世界の気候と天気のおくみ	今井 明子	図解リノベーション大百科	エクスナレッジ
富士山はいつ噴火するのか？ 火山のおくみとその不思議	萬年 一剛	昭和SLグラフィティ 北海道編下巻	対馬 好一 橋本 一朗
土砂災害の疑問55	日本応用地質学会 災害地質研究部会	EVのリアル	深尾 幸生
生き物が老いるということ 死と長寿の進化論	稲垣 栄洋	● 僕たちはいつ宇宙に行けるのか	山崎 直子 竹内 薫
大事なことは植物が教えてくれる		大きな字でわかりやすいYouTube ユーチューブ入門	AYURA
大絶滅は、また起きるのか？	高橋 瑞樹	IT戦争の支配者たち	深田 萌絵著
生物を分けると世界が分かる	岡西 政典	船の仕事海の仕事	伊藤 玄二郎
生きもの毛事典	保谷 彰彦	紙もの	暮らしの図鑑編集部
動物の体色がわかる図鑑 動物たちの色はこうして決まる	秋山 豊子監修	沖縄戦と琉球泡盛	上野 敏彦
図説世界の吸血動物	浅川 満彦監修	イチバン親切なおさいほうの教科書 新版	クライ・ムキ
沖縄美ら海水族館は なぜ役に立たない研究をするのか？	佐藤 圭一ほか	楽しくはたらく手作りエプロン	ブティック社
家で死のう！ 緩和ケア医による「死に方」の教科書	萬田 緑平	誰にでも似合う基本形の服	かたやま ゆうこ
BREATH 呼吸の科学	ジェームズ・ネスター	家庭科3だった私が家でも外でも100% 手作り服でコーディネートしています。	津田 蘭子
泌尿器科医ママが伝えたい おちんちんの教科書	岡田 百合香	ステキを作る60代からのソーイング vol. 9	ブティック社
民間療法は本当に「効く」のか	大野 智	いきいき脳活性手芸	

新 着 図 書 案 内 令和4年9月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
5 技術・工業・家事		8 言語	
● あっちこっち食器棚めぐり	伊藤 まさこ	あなたの知らない、世界の希少言語	ゾラン・ニコリッチ
à table SHIMA vol. 02(2022夏号)	タサン志麻	● 伝わるチカラ 「伝える」の先にある「伝わる」ということ	井上 貴博
内藤裕子のカレー一直線！！	内藤 裕子	漢字の使い分け図鑑	円満字 二郎
冷凍食品アレンジ神レシピ大全123品+∞	タケムラ ダイ	913 日本の小説	
“炒めない”炒めもの	今井 亮	● 両手にトカレフ	ブレイディみかこ
こんなにおいしい！レンチンレシピ	上島 亜紀	● 信仰	村田 沙耶香
ハツ江おばあちゃんの定番おうち洋食	高木 ハツ江	● 狂う潮 (新・酔いどれ小藤次 23)	佐伯 泰英
摘んで野草料理	金田 初代	● 八丁越 (新・酔いどれ小藤次 24)	
パスタ世界チャンピオンが教える おうち激ウマパスタ	弓削 啓太	浮世小路の姉妹	青柳 碧人
野菜のおいしい食べ方	池田 清子	ナゾトキ・ジパング	石田 衣良
日本ご当地パン大全	辰巳出版	禁猟区	今野 敏
低温調理の教科書	今城 敏	● 任侠楽団	朱川 湊人
台所図鑑	大木奈 ハル子 三田 みどり	揚羽の夢	堂場 瞬一
1秒片づけ	aki	鷹の系譜	年森 瑛
一緒に生きる 親子の風景	東 直子	N/A	中島 京子
6 産業・商業		オリーブの実るころ	永瀬 隼介
トカイナカに生きる	神山 典士	● 殺し屋の息子	西尾 潤
83歳、脱サラ農家の終農術	杉山 経昌	無年金者ちとせの告白	大竹 昭子
日本のコメ問題 5つの転換点と迫りくる最大の危機	小川 真如	いつもだれかが見ている	芝木 好子
農業者になるには	大浦 佳代	美しい記憶 芝木好子アンソロジー	前川 裕
日陰と小さなスペースの庭づくり	主婦の友社	ギニー・ファウル	阿川 佐和子
「クワカブの部屋」公式世界のカブトムシ・ クワガタ飼いか方&原色図鑑	三森 大輔	● ブータン、世界でいちばん幸せな女の子	岡田 利規
永続孤独社会 分断か、つながりか？	三浦 展	ブロッコリー・レボリューション	落合 恵子
7 芸術・スポーツ		わたしたち	熊谷 達也
美術作品の修復保存入門	宮津 大輔	明日へのペダル	佐藤 究
とびだせ！長谷川義史 ぼくの歩いてきた道	長谷川 義史	爆発物処理班の遭遇したスピン	澤村 伊智
● 世界のふしぎな色の名前	城 一夫 カラーデザイン研究所	怪談小説という名の小説怪談	篠田 節子
クラシック偽作・疑作大全	近藤 健児 久保 健	セカンドチャンス	白石 一文
ミュージカルの歴史	宮本 直美	道	舞城 王太郎
ドリフターズとその時代	笹山 敬輔	短篇七芒星	● 墜落
50歳からの科学的「筋肉トレーニング」	フィンク・ジュリウス	● 墜落	真山 仁
疲れない山歩きの技術	栗山 祐哉監修	CF	吉村 萬壺

新 着 図 書 案 内 令和4年9月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
氷点・『氷点』を旅する 合本特装版	三浦 綾子	吉原饗宴(朝日時代小説アンソロジー)	菊池 仁ほか
サウンド・ポスト	岩城 けい	9 その他の文学	
やわ肌くらべ	奥山 景布子	創作怪異怪物事典	朝里 樹
● 掬えば手には	瀬尾 まいこ	絵本のつぎに、なに読もう?	越高 綾乃
出帆	竹久 夢二	壁とともに生きる わたしと「安部公房」	ヤマザキ マリ
天海	三田 誠広	吉村昭の人生作法	谷口 桂子
父の声	小杉 健治	● ペガサスの記憶	桐島 洋子ほか
JK	松岡 圭祐	● 「私」という男の生涯	石原 慎太郎
謎掛鬼 警視庁捜査一課・ 小野瀬遥の黄昏事件簿	沢村 鐵	笑いの力、言葉の力 井上ひさしのバトンを受け継ぐ	渡邊 文幸
あるじなしとて	天津 佳之	石垣りん詩集	石垣 りん
残された人が編む物語	桂 望実	中原中也詩集	中原 中也
カレーの時間	寺地 はるな	まど・みちお詩集	まど みちお
うまたん ウマ探偵ルイスの大穴推理	東川 篤哉	さっきまでは薔薇だったぼく	最果 タヒ
覚悟の算盤 新装版 (湯屋のお助け人 3)	千野 隆司	絵巻で読む方丈記	鴨 長明
待宵の芒舟 新装版 (湯屋のお助け人 4)		なんだか疲れる(どうで荘文庫 巻の2)	藤村 忠寿 嬉野 雅道
残星を抱く	矢樹 純	今日もごきげんよう	松浦 弥太郎
須美ちゃんは名探偵!?	内田康夫財団 事務局	● 読書の森で寝転んで	葉室 麟
浅見家四重想 (須美ちゃんは名探偵!?)		● 私と街たちくほぼ自伝)	吉本 ばなな
杏の甘煮 (一膳めし屋丸九 3)	中島 久枝	● 小さいわたし	益田 ミリ
駆ける 2 少年騎馬遊撃隊	稲田 幸久	こころの風景	山折 哲雄
うちの旦那が甘ちゃんて 寿司屋台編	神楽坂 淳	紅色のあじさい 津村節子自選作品集	津村 節子
鯨の岬	河崎 秋子	客席のわたしたちを圧倒する	井上 ひさし
● 晩秋行	大沢 在昌	仰天・俳句断	夢枕 獏
たんぽぽ球場の決戦	越谷 オサム	本を読んだら散歩に行こう	村井 理子
臼月トウコは援護りたい	そえだ 信	言葉の還る場所で 谷川俊太郎×俵万智対談集	谷川 俊太郎 俵 万智
姫	花村 萬月	居場所がないのがつらいです	高橋 源一郎
夢を喰う男	本城 雅人	羈旅漫録	曲亭 馬琴
筆のみが知る 幽霊絵師火狂	近藤 史恵	● 飛び立つ季節 旅のつばくろ	沢木 耕太郎
恋ふらむ鳥は	澤田 瞳子	母さん、ごめん。2 50代独身男の介護 奮闘記 グループホーム編	松浦 晋也
揺籃の都(平家物語推理抄 2)	羽生 飛鳥	● 三体X 観想之宙	宝樹
海の教場	吉川 英梨	夏	アリ・スミス
蒼い水の女	柴田 哲孝	● ファイナル・ツイスト	ジェフリー・ ディーヴァー
偽りの捜査線 警察小説アンソロジー	誉田 哲也ほか	華麗な復讐株式会社	ヨナス・ヨナソン

登別市立図書館開館50周年記念企画展示 登別市立図書館ってどんなカンジ？

募集期間
9月9日（金）まで

現在、登別市立図書館では開館50周年を記念し、皆さまから「登別市立図書館を表す漢字一字」を募集しています。

皆さまの登別市立図書館への思いや考えを「漢字一字」でお寄せ下さい。

皆さまから寄せられた漢字は、10月1日から本館1階ロビーにて掲示いたします。

応募方法は登別市立図書館 本館、分館、移動図書館車、各配本所にて応募用紙を配布、応募箱も設置していますのでご投函ください。おひとりさま何度でも参加が可能です。

皆さまからの登別市立図書館への思いをお待ちしています。

図書館カレンダー 令和4年(2022年) 9月

日	月	火	水	木	金	土
				1 分館休館	2	3 映画会 デジタルおはなし会
4	5 本館休館	6	7	8 分館休館	9	10 えほんのへやのおはなし会
11	12 本館休館	13	14 ブックスタート	15 分館休館	16	17
18	19敬老の日 本館休館	20祝日振替 本館休館	21	22 分館休館	23秋分の日 本館休館	24 おはなしほけっと
25	26 本館休館	27	28 ライブライリー スタート おはなし会	29 大人の朗読会 分館休館	30 図書整理日 本館休館 分館休館	10/1 映画会

図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	85-4324
休館日	月曜・祝日・年末年始 毎月最終金曜	木曜・年末年始 毎月最終金曜	年末年始のみ		日曜・月曜 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~17:30 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	巡回表のとおり